

高度成長期を支えた住宅地のカーボンニュートラルによる再生と強靱化モデル ～ニュータウン脱炭素再生戦略～

(脱炭素先行地域:宮崎県延岡市一ヶ岡地区《5,710人在住、高齢化率37%》)

民生部門の電力削減の取組

要件①-1(民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現する取組)

1 脱炭素先進エリア整備

市営住宅再編(A,B,C団地)による余剰地
ZEB条件事業所向け分譲地、公用車カーシェア
やZEB子育て支援施設整備、EV充電スタンドなどを整備

2 脱炭素型での市営住宅再整備(PFI方式)

3 既存市営住宅等への太陽光発電設備・蓄電池導入

4 一ヶ岡下水処理場のゼロカーボン化

5 街灯・防犯灯、公共施設のLED100%化とRE100化

再エネ+蓄電池+EMS整備により

災害時、大手電力会社の送電網が停電しても、再エネ網で早期に送電開始可能

⇒脱炭素と同時に災害レジリエンス強化

6 再エネ・蓄電池費用やZEH・ZEB費用などの補助

7 市民の「脱炭素行動」に確実につなげる地域通貨(のべおかCOIN)

地域通貨”のべおかCOIN”(R3.8月にスタートした地域通貨)に
CNポイント(カーボンニュートラルポイント)を追加

8 エアコン買い替えや断熱改修など 脱炭素につながる消費への補助

9 GHG排出量の見える化

市民一丸となった取組み

⇒脱炭素の早期達成、市内類似団地、
さらには全国への展開へ

民生部門の電力以外等の取組

要件①-2(地域特性に応じた温暖化対策の取組)

① 南部乗合タクシー(3路線)のEV車化

② 市民向けカーシェア +EV充電スタンド+シェアサイクル

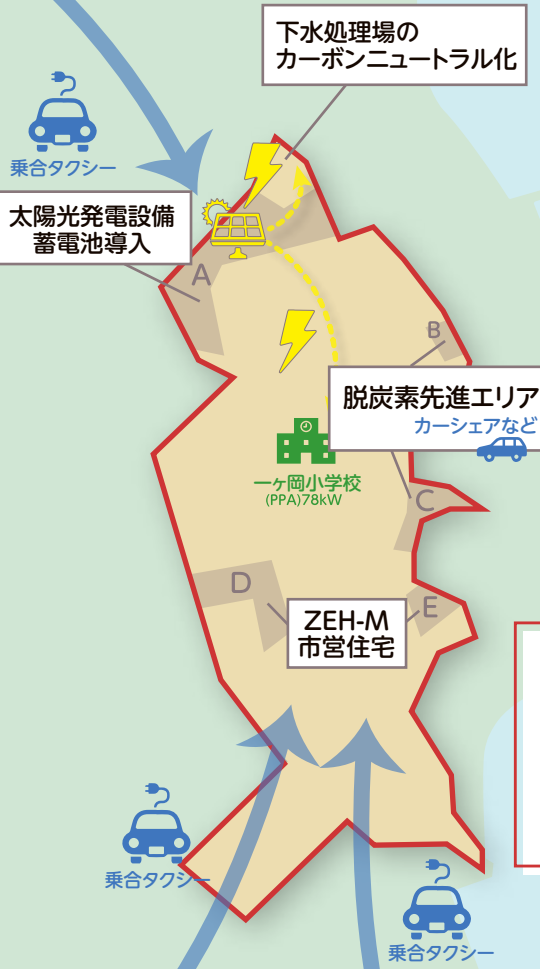
③ EV車・FCV車費用の補助

④ 免許返納時に多くポイント付与で脱マイカー推進

⑤ 先行地域内EV循環バス

⑥ 家庭用コンポスト補助拡大

⑦ 地元林産材での省エネ改修に対し補助



赤枠内面積99ha
REPOS太陽光発電
ポテンシャル13,000kW
↓
先行地域内に太陽光発電
6,478kW
小水力発電1.12kW設置



※エリア内の塗りつぶし範囲は市営団地敷地(A~E)

プロジェクトを実現する基盤
=テクノロジーを受け入れる力があり、助け合い活動が盛んな一ヶ岡の「市民力」